

令和6年度 第1回山北町まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

1 開催日時 令和6年8月26日(月)

開会：14時00分 閉会：14時40分

2 開催場所 山北町役場 401会議室

3 出席者(敬称略)

(1) 委員 7名

株式会社トヤマ 総務部長 香川 篤史

富士急モビリティ株式会社湘南営業所 所長 畑野 政信

かながわ西湘農業協同組合山北支店 支店長 鳥居 千哲

山北町 副町長 石田 浩二

神奈川県立山北高等学校 校長 多田 功

横浜銀行山北支店 支店長 梅田 秀治

さがみ信用金庫開成町支店 支店長 林 裕樹

(2) 事務局 3名

参事兼企画総務課長 井上 茂明

企画総務課副主幹 高橋 和久

企画総務課主事 石村 公一

(3) 株式会社サーベイリサーチセンター 1名

執行役員 一杉 浩史

4 会議概要

1 開会 参事兼企画総務課長

2 議題

(1) 山北町第2期総合戦略の令和5年度進捗状況について

会 長 それでは、議題（１）山北町第２期総合戦略の令和５年度進捗状況について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局 資料により説明。

会 長 この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。

委 員 基本目標１「オリーブ栽培の促進」の重要業績評価指標（KPI）については、令和元年度は４３．２kgであり、その後、ずっと減少傾向となっている。先ほど令和５年度は病害虫により減少したという説明があったが、それ以前の減少も病害虫が原因なのか。

事務局 農林課に確認したところ、病害虫が原因とのことである。

委 員 農林課の会議に出席した際、当初、オリーブ栽培はみかんの栽培より、オリーブの栽培の方が良いとどこかの県から聞いて始まったと聞いている。令和６年度もオリーブの栽培を行う予定か。

事務局 オリーブから青パパイヤの栽培に変更を検討したが、それもあまり上手くいかなかった。現在は、なんの農作物にも使える補助金をつくり、特定の農作物を決めずに事業を進めていく予定と聞いている。

委 員 また、他の農作物も出ると思うが、オリーブの収穫数が少ないのであれば、やまきた野菜くらぶが山北ブランドとして広げている「やまきたニンニクの栽培」を施策としたらどうか。県のブランドにも認定され、西湘地域でも広げる活動をしている。また、ニンニクは鳥獣害の被害防止にもなると聞いているので、ニンニクも良いのではないか。

会 長 私もその会議に出席した際、オリーブ作付面積がかなり減っているため、町として、オリーブ栽培の方向性について、農業委員から意見をいただいたところ、ここでやめるのではなく、もう少し推進していこうということであった。なかなか根が張らなくて、苗木が倒れてしまう等、色々な課題はあると思うが、改善策を講じて、引き続き促進していきたいと考えている。また、今回、やまきたニンニクという案も出たので、それも併せて検討していく。

委 員 基本目標２「外国人観光客向けの観光資源活用」の重要業績評価指標（KPI

I) について、目標200人に対して実績が0人であるが、町では外国人観光客向けに何か行っているのか。行っていないのであれば、そのまま中川温泉の方をお願いしているだけという状況ではどうなのか。

会 長

3月の会議でも、外国人観光客に対する対応が十分ではないという意見があったが、事務局は何か担当課から聞いているか。

事務局

特に対応を変えたとは聞いていない。

令和5年度は第2期の総合戦略の最終年度となり、この結果を検証して良い形で第3期に繋げられるようにこの項目を残すかどうかも含めて検討していきたいと思っている。宿泊する外国人観光客は余りいないようであるが、日帰りの方をうまく対応できるかどうかということも含めて、第3期の方では考えていきたい。

(2) 山北町第3期人口ビジョン・総合戦略策定のスケジュール等について

会 長

次に、議題(2)山北町第3期人口ビジョン・総合戦略策定のスケジュール等について、引き続き、事務局より説明をお願いしたい。

事務局

資料により説明。

会 長

この件に関してご意見、ご質問があれば発言をお願いしたい。

委 員

(3) 新たな取り組みについて、先駆的事業の廃止とあるが、第2期の先駆的事業を廃止するという意味か。

事務局

第2期の先駆的事業を廃止するという意味ではなく、第1期と第2期の総合戦略では、先駆的事業を設定していたが、国や県でも先駆的事業を設定していないことからこの第3期総合戦略では先駆的事業を設定しないということである。

委 員

先駆的事業の目標も基本目標に含んで設定するということでいいか。

事務局

ご認識の通りである。

会 長

現在の進捗状況について、事務局から何かあるか。

事務局

現在、人口ビジョンの策定に向け、人口分析中のため、特にお伝えできるこ

とはない。

会 長

各委員が所属する団体に行うアンケートについて、どんな内容か示すことができる範囲で教えてほしい。

事務局

まだ、素案の段階だが、地方創生に関する各団体の取り組み、町と協働してできること、町がデジタルを活用してどのような取り組みをしていくべきかをアンケートで取らせていただく予定。年代が幅広くなるように5名程度、回答をいただきたい。

副会長

山北高校では、総合的な探求の時間という授業で、他の学校より多く3年間で5単位を取得させている。具体的な内容は、「未来探究」ということで、山北町の地域課題について取り組んでいる。1年生は「山北町を知ろう」、2年生は「山北町を探ろう」、3年生は「山北町の課題」について、子どもたちの目線で政策提言を行っている。本年度も12月13日に発表会を生涯学習センターで行うことを予定している。この取り組みも6年目になる。山北町とは協働して取り組みを行っている。また、アンケートで子どもたちの新鮮な考えを示していけると思っている。

会長

高校生からの意見も取り込んでいければと考えている。各団体の若い人を含めた中でアンケートの協力をお願いしたい。

3 その他

事務局

特になし。

4 閉 会 参事兼企画総務課長

以 上